

「茨城県における外国人材の受入れ促進に向けた取組等について」

少子高齢化等を背景に、我が国は外国人材の受入れを推進しており、日本で就労している外国人は、2020年10月末時点で過去最高の172万人超となっています。在留資格の面でも、従来の「技能実習」等に加え、平成30年の法改正で「特定技能」が創設されていますが、一方で外国人材は生活面、待遇面で各種困難を抱え、企業サイドも雇用ミスマッチの回避等に苦心する等課題も多々あります。

全国の自治体では本問題に積極的に取り組んでおり、多くの外国人が在留する茨城県でも外国人材と企業を結ぶ外国人材支援センターを新設し、各種促進・改善策を講じているところです。今般、茨城県庁にて、外国人材の受入れ促進業務に従事されておられる専門家をお招きし、現場での取組等についてお話いただきます。「平和と共生」演習・実践演習授業の一環として実施しますが、履修者以外の学生・教職員・お茶大関係者で関心のある方も是非ご参加ください。

日時 2021年 6月 29日（火曜日）

13:20 ~ 14:50

形式 Zoomによるオンライン開催（事前申込）

申込

件名を「6/29SDGsセミナー」とし、本文に氏名、所属、学年、emailを明記の上、グローバル協力センター（info-cwed@cc.ocha.ac.jp）までメールしてください。

10 人や国の不平等をなくそう



講師

高野弘毅 氏：茨城県産業戦略部労働政策課
雇用促進対策室 主任

茨城県つくば市出身。2011年茨城県庁入庁・企画局総務課企画経営室、県民生活環境部環境対策課を経て、2016年4月より東京大学公共政策大学院、2017年7月よりオーストラリア国立大学クローフォード公共政策大学院で学ぶ。2018年10月より県民生活環境部環境対策課、2019年4月より産業戦略部労働政策課、同年8月から外国人材業務を担当。茨城県外国人材支援センター運営の他、「外国人材に選ばれる茨城」を目指し、海外の政府や公的機関、高等教育機関と連携し、茨城県内企業への外国人材受入スキームの構築業務に従事。